

富山市総合計画審議会「第4回 人材・暮らし部会」 議事録

日時：2016年10月24日（月）14:00～14:45

場所：富山市役所 第4委員会室

出席者：（順不同）

宮田伸朗	富山国際学園学事顧問（部会長）
江藤裕子	公募委員
桑田由美子	富山市PTA連絡協議会副会長
塩井保彦	公益財団法人富山市体育協会会長
島田一彦	公益社団法人富山市医師会会長
舘内敬子	富山市保健推進員連絡協議会会長
中西彰	富山市公民館連絡協議会会長
野尻昭一	社会福祉法人富山市社会福祉協議会
見波重尋	婦中地域自治振興連絡協議会会長

企画管理部	本田部長、西田次長、中田次長、前田参事、井村主幹
福祉保健部	中村次長
市民生活部	大森次長
教育委員会	斉藤次長
市民病院	高田参事

議事内容：

1. 開会
2. 第2次富山市総合計画前期基本計画（案）について

「第2次富山市総合計画前期基本計画（案）」の修正等について事務局より説明。

委員

- ・ 教育大綱の表現と合わせて、「学校図書

の充実」ではなく、「学校図書館の充実」でお願いしたい。「学校司書の配置を通して」の後には、「教育課程に学校図書館を位置づけ、教育大綱にある豊かな心や想像力、確かな知識を育みます」という文章にしていきたい。

事務局

- 了解した。
- 個別計画とのバランスを考えて、総合計画として整理する。

委員

- ・ これでよい。

委員

- ・ 15ページの東京オリンピック・パラリンピックの「開催」という表現は、主催者ではないので気にな

る。

委員

- ・ 特になし。

委員

- ・ 19 ページ「健康まちづくりの推進」で、歩くことだけに限定してよいのか。最近、負担の少ない筋肉トレーニングなどが介護予防や成人病、老化防止に効果があるとされている。
- ・ 「障害者の自立と社会の促進」で、相模原の事件が起きた中、共生社会に対する市民の協働意識啓発が必要ではないか。

部会長

- ・ 啓発活動のところはもう少し強めてもいいかと。共生社会の再確認が必要。

事務局

- 共生社会の確立という点は、協働連携の部分で記載しているところである。
- ウォーキングについては、コンパクトなまちづくりで歩くことを推奨している。1つの象徴という意味。
- 歩くことでまちの楽しさを発見する、まちづくりとのストーリー性を考えている。
- 23 ページ3行目に「パワーリハビリテーション」などを記述している。

委員

- ・ 19 ページは、まちづくりの視点から、ということで了解した。

委員

- ・ 特になし。

委員

- ・ 文化会館の閉鎖は耐震性の関係か。

事務局

- 老朽化、耐震性と利用率の低さ、設備更新の関係で、利用者・地域の方とも協議する中で廃止することになった。

部会長

- ・ 事務局から、住民説明会の状況の報告をお願いしたい。

事務局

- 昨日、市民説明会を開催、30名弱が参加し、2人から意見をいただいた。1人からは富山大空襲記念館建設の要望。これに対しては、毎年、戦災・復興に関連するイベントを開催していることを説明した。もう1人から3つの意見があり、1点目の富山市だけの発展ではなく周辺との発展が必要だとの意見に対して、防災・観光での県や関係市町村との連携や広域行政の取り組みを説明。2点目は大災害への危機感を認識する必要があるのではないかと意見。3点目のエゴマ栽培地での汚染を危惧する意見には、担当部署から調査の結果、心配はないと回答。特にこの部会に関連するものはなかった。

委員

- ・ 29 ページに「親子サークルの実施箇所を増やす」とあるが、親子サークルの参加率が減ってきている気がする。対象の2歳児が少なくなって、サークルの享受型の形態では、子育て支援にならなく

なる時期が早く来るのでは。親子サークルのプログラムを広場型にすれば参加が増えるのでは。プログラムは柔軟にやらせてもらえるのか。

事務局

- 支援センターなどが充実してきているからでないか。親子サークルは地域の身近な利用の面で有効である。プログラムの内容については担当課に伝える。

部会長

- ・ 幼稚園も認定こども園に移る動きが出てきている。
- ・ 今回出た意見は、事務局で受け止めていただいて、調整部会などで他の部会長と調整したい。

事務局

- 次回は11月28日（月）10:00～全体会を予定している。後日改めてご案内する。